

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	TANK RAMPAGE		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル	
RG	2.550	△RG	0.020	●ピン	★PAP	✕CG	■バランスホール

テストボール：TANK RAMPAGE

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

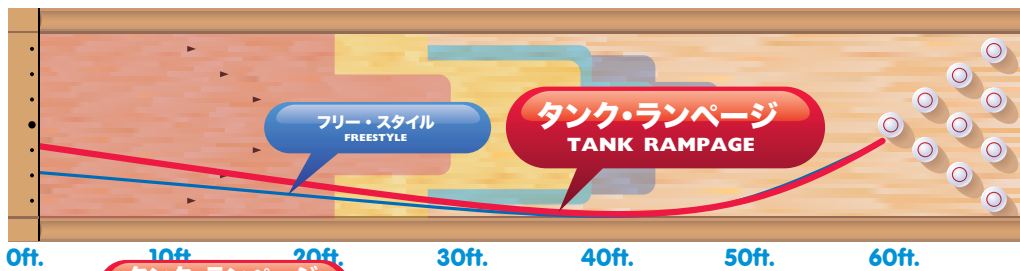
比較対照ボール：FREE STYLE

フレアーの幅 インチ

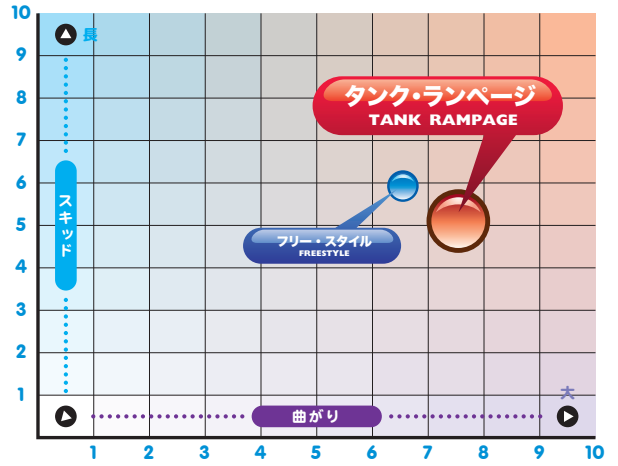
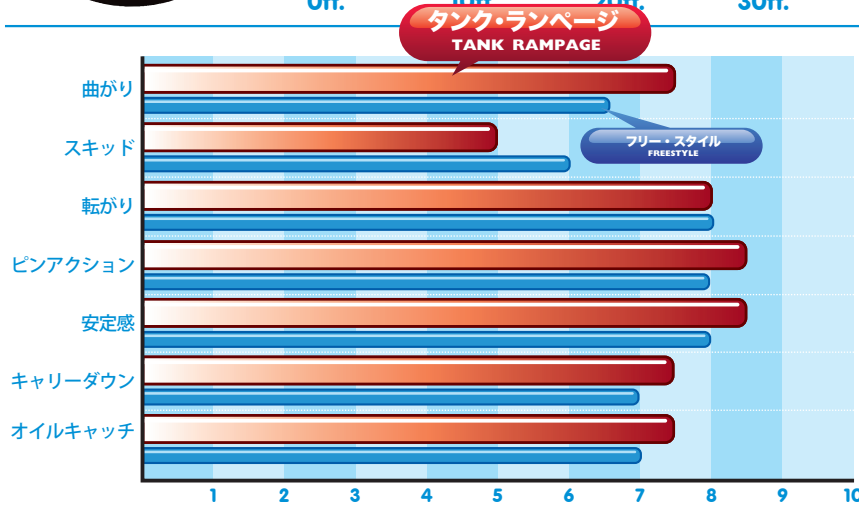
PAPからピンとの距離 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

滑らかで非常に破壊的なMOTIV社TANK RAMPAGE。強力なウレタン素材のボールは厳しい条件の中でボウラーにとって最も一般的なオプションの1つになりつつあります。新しいAlchemy Urethaneカバーストックは、MotivのPBAツアースタッフによってテストおよび開発され、強力なフックポテンシャルを提供しますが、その最先端のウレタンは非常に扱いやすく滑らかな動きで、曲りが予想しやすくなっているのが特徴です。Gear V2 Coreコアは最大のコントロールを引き出すためによりタイトなトラックフレアを提供するように変更されていて、Alchemy Urethaneとのマッチングは非常に高いと言えるでしょう。

テストの第一印象は、TANK RAMPAGEはMOTIVが今までにリリースした最強のウレタンボールで、シリーズで最も多目的な汎用性の高い仕上がりです。今までのようにオイルが薄い条件下であったり、ドライゾーンの壁が高かったりしたような状態に限らず、普段のフランチャイズのコンディションからより多くのアングル、より多くの条件でTANK RAMPAGEを使用することができます。今回あえてやや強めの3000Grit LSSの表面仕上げも限定したステージではなく、あくまで多目的に使用をフォーカスしてきた表れだと思います。

今回このTANK RAMPAGEはTEAM MOTIV男子キャプテンの北岡義実プロにもテストに加わって頂き、様々なセンターで様々なコンディションでテストドライブをして頂いています。北岡プロは「今までのウレタン素材のイメージを覆す出来で、特にこの柔らかいピンアクションはウレタンとは思えない」という印象を報告頂いています。現代のボールの曲りが急激すぎる場面もあるでしょう。その時に安定した軌跡を取りたいときに、このTANK RAMPAGEは必ずやあなたの武器になってくれるでしょう。今回のTANK RAMPAGEは曲がらないウレタンというよりは、フランチャイズのコンディションで一投目から投球できます。過激に曲ってしまうコンディションのとき、安定した軌道を描きます。

特記事項

LIGHT OIL領域に最新のウレタン素材が加わり、さらにレポートの幅も広がりました。MOTIV社のウレタン素材を持ち望んだ方も多くと思います。是非この機会にお買い求めください。